

特別研究I・II発表審査会 特別研究論文概要 の作成要領

創造工学専攻 高専 太郎 (Kosen Tarou)

1 ページ設定とページ数

マージンは左右が 20mm, 上方が 20mm, 下方が 25mm 程度とし, 2 段組で 1 段 25 文字 50 行を標準とします. 段幅は約 82mm です. 用紙は A 4 を縦置きで使用. ページ総数は 2 ページとし, 過不足は認めません.

2 タイトルページ

タイトルページは 2 つの部分で構成されます.

- タイトル部分 (題目, 所属, 著者は上記のように並べて下さい)
- 本文部分: 横 2 段組

2.1 タイトル部分のレイアウトとフォント

タイトル部分の左右のマージンは, 本文の左右のマージンよりもそれぞれ 1 cm ずつ大きくとって下さい. したがって, A4 用紙の幅に対して左右それぞれ 3 cm ずつのマージンをとります.

タイトルは A4 用紙の上辺に約 3 cm のマージンを取り, センタリングします. 以下次の順にタイトル部分の構成要素を書いて下さい.

和文タイトル: ゴシック体 20 pt フォント

和文所属著者名: 明朝体 12 pt フォント

2.2 本文部分のレイアウトとフォント

本文は 2 段組で, 左右のマージンは 20 mm ずつ, 段と段との間のスペースは約 6 mm とします. 下辺のマージンは 25 mm です.

本文には明朝体 10 pt フォントを用いて下さい.

3 一般ページ

第 2 ページ以降の通常のページは上辺のマージンを 20 mm とします. それ以外はタイトルページの本文部分と同じレイアウトとフォントで本文を作成します.

4 数式および数学記号

数式や数学記号は次の式 (1)

$$G = \sum_{n=0}^{\infty} b_n(t) \quad (1)$$

表 1 表のキャプションは表の上の中央に置く. このように長いときはインデントして折り返す

実験番号	水深 [m]	流量 [m ³ /s]
1	2.5	10.0
2	3.8	20.0
3	4.5	30.0

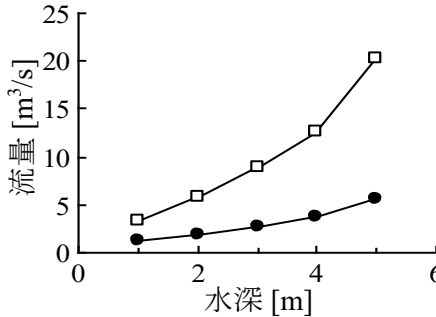


図 1 図のキャプションは図の下の中央に置く.

のように本文と独立している場合でも, C_D , $\alpha(z)$ のように文章の中に出てくる場合でも同じ数式用のフォントを用いて作成します.

数式はセンタリングし, 式番号は括弧書きで右詰めにします.

5 図表

図表はそれらを最初に引用する文章と同じページに置くことを原則とします. 原稿末尾にまとめたりしてはいけません.

図表を引用する場合は図 1 および表 1 のように記述して下さい.

6 参考文献

参考文献は [1] と表記して引用してください. 複数の文献を引用する場合は [1, 2, 3] または [1]–[3] と記述してください.

7 注意事項

本テンプレートは元々 Word でのみ配布されている予稿のテンプレートを北村大地が LaTeX による組版で可能な限り忠実に再現したファイルになります. マージンや余白などには細心の注意を払いましたが, ボールドフォントの違い等の細かい点は組版ソフト

の違いが存在する以上生じてしまいます。あくまでも非公式のテンプレートとして自己責任で使用してください。

TeX のコンパイラは恐らく最もスタンダードである pdfLaTeX を使用することを想定しています。他のコンパイラでの動作確認はしておりません。また、今後の対応の予定もありません。もう北村は疲れました。

参考文献

[1] T. Kosen and H. Takamatu, “First paper title goes here,” *Journal Name*, vol. 1, no. 1, pp. 1–

10, 2018.

[2] T. Kosen, H. Takamatu, and S. Takuma, “Second paper title goes here,” *Journal Name*, vol. 2, no. 2, pp. 11–20, 2019.

[3] T. Kosen and H. Takamatu, “Third paper title goes here,” *Journal Name*, vol. 3, no. 3, pp. 21–30, 2020.